



スポーツの祭典開催～町民運動会～

- 奈半利町町民運動会開催
- 町のニュース
- 議会だより Vol.128
- ヘルスメイト
- 中学校だより ほか



人 口 / 3,582 人

男 / 1,654 人

女 / 1,928 人

世帯数 / 1,788 戸

平成24年10月31日現在

奈半利町のスポーツの祭典 町民運動会開催

11月3日(土)少し寒くなってきた秋空の下、奈半利町のスポーツの祭典「町民運動会」が奈半利小学校にて開催されました。



当日は多数の町民の方が参加され、かわいいうち幼稚園児のかっこやバウンドボール、競輪選手といった種目では、珍プレーや抜きつ抜かれたりの競走に会場は沸き立ち、綱引きや年輪リレーの地区対抗種目では、各地区の代表選手の力強い姿、トップランナーの快走にグラウンドは歓声に包まれました。

順位は前半から東町が1位を独占し、後半もさらに勢いをつ

けて、綱引きや年輪リレーでも高得点を連取し、見事優勝しました。

競技終了後の閉会式では、グラウンドゴルフ競争で唯一見事にホールインワンを決めた植田巨さんと、男女8人秋物語や400mリレーで活躍を見せ、チームを優勝へと導いた高田たか子さんの2人がMVPに選ばれました。おめでとうございます。

結果は下のとおりです。



優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
東町	車瀬	東浜	平松・弓場	六本松以東	上長田	横町	法恩寺	百石	下長田	中里	樋ノ口
44点	38点	38点	36点	36点	35点	33点	32点	32点	31点	31点	12点

※最優秀選手賞 高田たか子さん(東町地区)

※優秀選手賞 植田 巨さん(横町地区)

※町民運動会は、お年寄りから子どもまでみんなが集まり、健康増進や地域間、世代間の交流を促進することを目的としており、真剣に競技することで和を深め、スポーツの秋を楽しく過ごすことを目標に開催しております。来年も皆様の元気な姿が町民運動会で拝見できることを楽しみにしております。

最後になりましたが、町民運動会の運営にあたり、各地区の世話人様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

平成24年度敬老会を開催しました

長寿をお祝いしようと、9月17日の敬老の日には奈半利小学校体育館において敬老会が行われました。敬老会の対象となる75歳以上の方は814人となり、当日は、約120人が出席されました。

午前9時から式典が始まり、町長の式辞、模範老人(植田昌さん、小笠原静子さん、田中孝子さん、手嶋美江さん)の表彰、金婚を迎えられたご夫婦(小松恵作さん・光子さん、安光恭一さん・セツ子さん、山岡健一郎さん・美保子さんご夫婦)への祝辞の後、来賓の方々よりお祝いのことをいただきました。町内の小学生からも心のこもった作文の発表をしていただき、最後は出席者を代表して濱中俊子さんよりお礼のことばが述べられました。



演芸では、奈半利幼稚園、奈半利小学校や加領郷小学校児童による歌や踊りの後、大正琴クラブ、日赤奉仕団、武知隆さん、奈半利町老人クラブの方々にも趣向を凝らした出し物でご協力をいただき、出席された皆さんは、楽しいひとときを過ごされていました。

平成24年度奈半利町表彰式開催

平成24年10月28日、奈半利町保健センターにおいて、平成24年度奈半利町表彰式が執り行われました。町表彰は、長きにわたり奈半利町のために貢献された団体・個人の活動を称え、表彰するものです。

本年度、町表彰を受けられたのは、団体では、社会福祉に寄与された1団体、個人では、住環境の保全に寄与された2名の方々です。

○団体

奈半利わらびの会ボランティア

瀬川 花子(車瀬) 谷岡美智子(加領郷)

小笠原静子(上長田) 大寺 鶴恵(横町)

○個人

武知 隆(立町) 岡村 末男(生木)



中芸観光スペシャルキャンペーン

ほけな祭

～奈半利・田野・安田・北川・馬路～

中芸観光スペシャルキャンペーン「ほけな祭」

- 日時 2013年1月26日(土)夕方(予定)、27日(日) 10:00～15:00
- 場所 高知市中央公園
- 問い合わせ 中芸観光協議会 電話0887-38-3306
<http://www.chugeikanko.com/>

初の中芸観光開き!!

2013年1月26・27日の両日、高知市中央公園にて、中芸5力町村集まって初めての観光開きを行います。

中芸の「おきやく」再現に始まり、中芸地域の「うまいもん市」、「魚梁瀬森林鉄道」の体験乗車、「土佐の町家雛まつり」イベントのPR、中芸地域のエンターテインナーによるアトラクション・ライブなど、中芸づくしのこのイベントに、皆さん、ぜひお越しください!!



オーストラリア研修



井上晴香

私たちは、8月20日から27日までの間、町の国際交流事業としてオーストラリアに行ってきました。

6月28日からジャラさん、8月からはジェシーさんと一緒に事前研修をして、自己紹介や挨拶の仕方など多くのことを学びました。不安がたくさんあったけど、私は事前研修で習ったことを活かして、滞在中も頑張ることができました。

「もうシドニーへ行ってしまうんだな」と実感したのは、成田から飛行機に乗ったときでした。出発式のときはまだ実感がなくて、龍馬空港へ行くバスの中や、そこから羽田へ行く飛行機の中でも、友達と喋ったりしていました。成田からシドニーへ行く飛行機の中から不安と緊張が入り交じって、なかなか眠ることもできませんでした。

2日目の朝はとても寒かったです。やっぱり冬だなと感じました。でもいろいろなところを見てまわることができて、とても楽しかったです。そして午後は、とうとうホストファミリーと対面しました。私はウォールさん一家にお世話になりました。夜は、一緒にテレビを見たりして、とても楽しかったです。

す。

3日目は、マンリーセレクトティブキャンパスという学校へ行ききました。私のバディのグレイスとクリスティーヌは、日本語が上手で、とても明るくて面白かったです。その日の午後、タロンガ動物園に行きました。カンガルーなどのオーストラリアの生物だけでなく、ライオンやトラなど、日本にいる動物などもいて、とても楽しめました。

4日目は終日、学校にいました。授業は少し難しかったです。日本語の授業のときは特にみんなで盛り上がりたので嬉しかったです。楽しい仲間とお別れをした6日目は少し寂しかったです。一緒にテレビを見たり、庭のトランポリンで遊んだりしたのは、とても楽しかったのに、いざお別れとなると、とても悲しかったです。また会える日があることを信じています。

楽しい思い出を作ることができたオーストラリアを離れた7日目は、すごく寂しかったです。日本に帰りたくなかったわけではないけれど、飛行機から見たシドニーは、とても名残惜しかったです。今回の海外研修は、とてもいい経験になりました。もしまた、海外へ行ける機会があるなら、そのときまでに今よりもっと英語を話せるように、そして、もっとコミュニケーションが取れるように頑張りたいと強く思いました。

岳本心

僕たちは8日間、オーストラリア研修に行きました。僕が一番印象に残っているのは学校交流です。授業は英語、日本語、科学などの授業を受けました。英語や科学はすごく難しかったです。逆に日本語の授業ではカタカナを学習していたので、日本人の僕にとってはすごく簡単感じました。でも外国の人からすると、カタカナは難しいそうです。スポーツ交流の時間は、バスケットボールをしました。オーストラリアの学生は皆すごく上手で、とても楽しむことができました。



した。最終日にはゲームや、生徒たちが自分たちで作った映画を見せてもらい、すごく上手に作っているなと思いました。僕は最後のあいさつをその日の朝に覚えたのですが、しつかりと言ったことができて良かったです。

ホストファミリーたちは毎日僕に、「今日は楽しかった?」「もうすぐご飯だよ」など、たくさん話しかけてくれたので、おかげで僕も緊張がほぐれたような気がします。夕食で作ってくれたハンバーグやスパゲティがすごくおいしくて、おかわりをしたことを覚えています。5日目の夜には、バーベキューパーティーを行い、たくさんの人と会話をし、楽しく過ごすことができました。最終日には



フットボールに連れていってくれたりもしました。僕も家の荷物を運んだりするお手伝いをするのができたのでよかったです。観光ではオペラハウスやハーバーブリッジを見ました。町やビルも、日本に比べるとすごく大きかったです。さすがシドニーだなと思いました。タロンガ動物園にはカンガルーやコアラ、ワニなどもいました。初めて見る動物など、もいて面白かったです。気付くと写真を撮るたくさん撮ってしまっていました。

このオーストラリア研修をふり返って、学校と一緒に授業を受けたり、ホストファミリーと英語で会話することで、オーストラリアの人はとても親切だということが分かり、安心してホームステイや学校交流をすることができました。いつかまた、再会できたらいいなと思っています。本当に良い体験になりました。今回学んだことを日本で活かして、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

池田 瑞樹

僕は、中学生オーストラリア生活体験ツアーに参加し、シドニーへ行ってきました。

シドニーに着いてから、初めに

観光をしました。オペラハウスやシドニータワーなどの建物を見て、人間の発想や知恵の豊かさを感じ、それを作り出す技術はすごいと思いました。また見に行きたいです。

ホストファミリーとの生活は、とても充実していました。日本から持ってきたお土産や、僕が作った焼きそばをとても喜んでもらえてうれしかったです。一緒に折り紙をしたことをよく覚えています。会話の時もみんなから僕に話しかけてきてくれて、英語を使う機会をたくさん与えてくれました。相手の思いやりから人の温かさを感じました。ホストファミリー全員としっかりコミュニケーションがとれたし、自分から話しかけることもできて良かったと思いました。ホストファミリーと話していると、英語を使うことは楽しいと改めて感じる事ができました。マンリースクールの方々は、たくさん話をして、一緒に運動や授業を行い、様々なことを体験させてもらいました。お互いにとって、日本語と英語の勉強になったと思います。優しく接してくれて、とても助かりました。ホストファミリーやマンリースクールの友達とお別れするのは寂しかったですけど、いい思い出がたくさんできたのでよかったです。



オーストラリア滞在の全てを通して、たくさんの人に親切にしてもらい、人の温かさを感じ、英語やコミュニケーションの大切さを学び、その難しさを痛感しました。初めて体験することもあって、いい思い出たくさんできました。

オーストラリアの方々だけでなく、この体験ツアーに関わる全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。この貴重な経験は絶対に忘れません。学び、感じたことをこれからの生活に活かしていきたいと思っています。

東野 宏哉

僕は8月20日から8月27日の8日間、オーストラリアのシドニーに研修旅行に行ってきました。行くときはすごく不安でしたが、実際に行ってみたらすごく楽しかったです。

たです。奈半利町を出発した翌日にオーストラリアのシドニーに着きました。飛行機から降りたら、上着なしではいられないぐらい寒かったです。オーストラリアに着いて、1日目は観光をしました。シドニーのオペラハウスやハーバーブリッジなど、いろいろな所を見られました。オペラハウスは白一色ではなくて、黄色と白色が使われていることが分かりました。フィッシュアンドチップスという食べ物を初めて食べましたが、とてもおいしかったです。

午後3時にホストファミリーとの待ち合わせの場所に行きました。行く途中に、自分の英語は上手く伝わるだろうかとか、いろいろ頭の中で考えてしまい、とてもドキドキしていたことを覚えています。僕のホームステイ先のホストファミリーが最初に迎えに来てくれました。降りてきた人がとても優しくだったので、少しほっとしました。自己紹介も緊張せずに言うことができたので良かったです。僕のホームステイ先はエリアさんのお宅でした。家に着くと、エリアさんの奥さんのアンジェラさん、孫のエディンくん、アティアンちゃんが待っていてくれて、僕を迎えてくれました。その時に、この家庭だったらホームステイも大丈夫だなと思い安心しました。

→ 眞田 寧々 ←

家に着いたらすぐに夕食でした。僕の家では7時30分くらいから食べるのに、エリアさんの家では午後5時くらいから夕食を食べ始めたので、少し早いなと思いました。食後に日本からのお土産を渡したら、みんな喜んでくれたのでうれしかったです。その後はゲームをしたり、家族と話をして8時30分頃に寝ました。

オーストラリア2日目はいよいよ学校へ行く日です。日本語は通じないので、全部英語で話すつもりで学校に入りました。僕のバディはジェシーさんとハナちゃんでした。二人ともハーフで、日本語がペラペラだったのでびっくりしました。日本語の発音がとても良かったので、ついつい日本語が出てしまつてきました。学校は授業が選択できたので、僕はバディの2人と一緒にほとんど日



本語の授業に参加しました。その他にも歴史や地理、英語や数学などを3日間で受けました。歴史、地理、英語はほとんど何を言っているか分かりませんでした。

オーストラリアの主食はパスタやパンでした。日本を離れて5日目にもなると、とてもお米が食べなくなりしましたが、オーストラリアには日本のお米が無くて残念でした。オーストラリアの自然や環境は奈半利と似ていましたが、オーストラリアの方が少し乾燥気味でした。シドニーの港をのぞいてみると、たくさん魚が泳いでいました。オーストラリアで、僕の大好きな魚を見られて良かったです。このオーストラリア研修旅行で少し残念だったのは、自然体験ができなかったことです。オーストラリアで釣りをしたかったけど、できなかったことが心残りです。帰宅してから、家族にオーストラリアのことを話しました。すると、母と姉が「行きたい。」と言っていました。

研修旅行を通じて文化や英語などたくさん学ぶことができました。またオーストラリアにホームステイに行きたいです。僕たちがオーストラリアに行くのに携わってくれた人、そして国際交流員のジェシーさん本当にありがとうございました。

私たちは8月20日から8月27日までの間、オーストラリア研修へ行ってきました。

オーストラリアに着いた時は、シドニーの綺麗な街並みに感動しました。2日目はシドニー市内を観光しました。シドニーの海はすごく綺麗で、冬だというのに泳いでいる人もたくさんいました。私が2日目に行った所で1番印象に残っているのがオペラハウスです。遠くからも近くからも見たりできて、見る角度によって見え方が違うので、見ていると全然飽きなくて、思わず写真を撮る何枚も撮っていました。シドニーには古い建物や高層ビルがたくさんあって、昔と今の建物を同時に見えたので、昔と今の技術の違いなどを改めてすごいと感じることができました。そして観光を終えた後、ホストファミリーとの対面となりました。

ホストファミリーを待っている間は緊張と不安でいっぱいでした。けど、実際に会ってみたらすごく優しく、ゆっくり話しかけてきてくれて、すぐにうちとけることができました。私が持つて行ったお土産もよろこんでくれたし、折り紙でうさを教えてあげたらとても驚いた様子で、そのうさが

を部屋に飾ってくれていました。気に入ってもらえたようなのでうれしかったです。

3日目はMANLY中学校に行きました。生徒たちと仲良くできるかなど、不安はたくさんありましたが、MANLY中学校の生徒は日本語でよく話しかけてくれたり、学校の案内も丁寧にしてくれました。MANLY中学校はとにかく大きくて、教室もたくさんあり、生徒もたくさんいました。学校では皆と一緒に色々な授業を受けました。日本では受けられない授業も受けられたので良い経験となりました。MANLY中学校では、中国語と日本語を勉強していて、私は日本語の授業を受けました。数のかぞえかたや、妖怪についてなどを学んでいました。日本語の教室には、日本のアニメのポスターや小物があって、とても懐かしかったです。昼休みは売店で食べ物を買って皆と一緒に食べました。皆と一緒に食べたので、すごくおいしく感じました。スポーツ交流の時間には一緒にバスケットボールもしました。結構バスケットボール好きの子が多くて、皆とても上手でした。学校での生活はどれも楽しくて、学校にいる時間は一瞬に感じました。思いうがたくさんでできた分、皆とのお別れはつらかったけど、コミュニ



ニケーションの大切さや、忘れることのできない思い出が学校生活の中で見つけられたので良かったと思いました。

6日目はホストファミリーと過ごす最後の日となりました。お母さんは私を買い物や海に連れて行ってくれました。そこでシドニーの海は綺麗だなと改めて思いました。最後にいろいろなところに連れて行ってくれたり、私のことを本家の家族のように接してくれたホストファミリーにはとても感謝しています。最後のお別れもつらかったけど笑顔で別れることができました。この貴重な経験をこれからの授業や生活でも活かしていきたいと思っています。この研修に携わってもらった方々には大変感謝しています。

平成23年度の決算を認定

一般会計の歳出総額は

36億4,130万円

(前年度比29.4%の大幅増)

南海地震対策に **1億3,044万円**

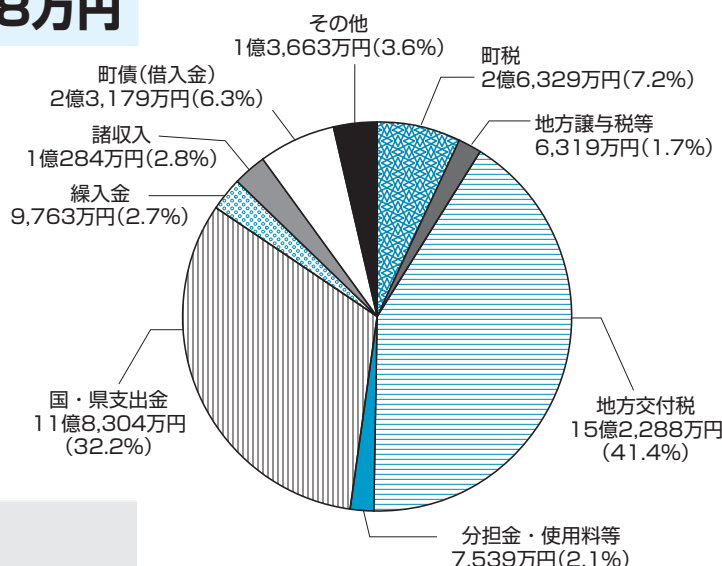
情報通信基盤整備に **9,136万円**

議会だより

VOL.128

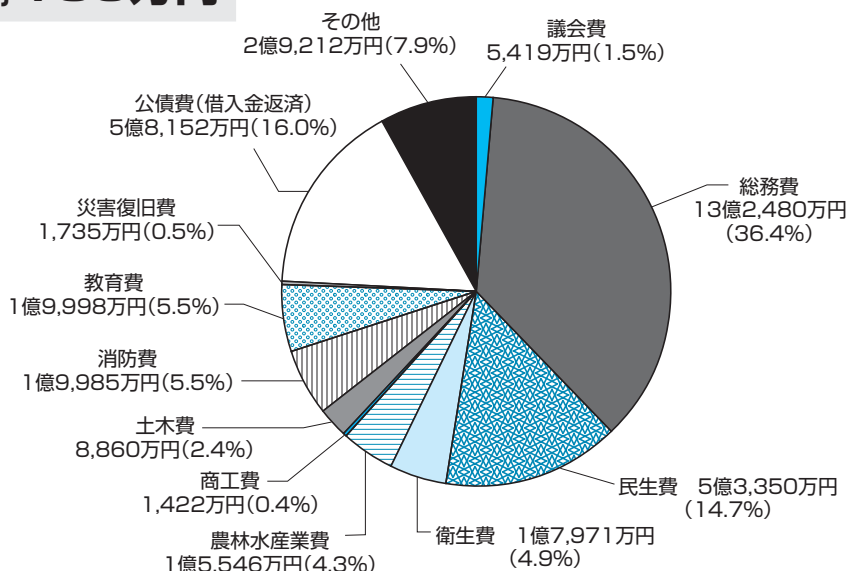
一般会計歳入

36億7,668万円



一般会計歳出

36億4,130万円



9月定例会は、9月18日に開会し、町長からの行政報告の後、報告案件1件、人事案件2件、条例案件1件、決算案件5件、予算案件5件を原案どおり可決し、20日に閉会した。

一般質問は6人が登壇し、震災・防災対策、教育問題、中山間対策などについて執行者の考えをたじた。

主な行政報告（要旨）

○財政健全化法による各指標及び財政運営

平成23年度決算による、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、本町は赤字決算団体ではなく、指標に基づく評価を必要としていない。将来負担比率は、将来負担額よりも基金残高等の充当可能財源が多いため、特に問題はない。

実質公債費比率（3カ年平均）は、平成23年度決算では、対前年度2.2ポイント減の10.6%に改善され、起債を発行する際に許可を必要とする基準の18%を下回っている。本年度の普通交付税・臨時財政対策債の合計額は、13億5,048万円であり、1億1,254万円（対前年度7.7%）の減となっている。

国においては、震災復興や社会保険など増大する財政需要の中、地方交付税を削減対象外としているが、影響は避けられないと考え、今後も健全な財政運営を行う。

○地域のみんで防災訓練

9月2日、県内一斉に「地域のみんで防災訓練」が実施された。平野部では昨年度に策定した津波避難計画に基づいた避難場所を設定し、また山間部で



▲「南海地震に備えて」の研修会

は従来の避難場所として町内27地区で避難訓練を行い、住民約800人の参加があった。避難訓練終了後、「南海地震に備えて」の研修会を開催し、約1000人の参加があり、地震発生のおみや避難方法等の内容について研修を行った。

近い将来必ず起こる南海地震に備えていきたいと考えている。

○ちびっくトライアスロン

7月29日、奈半利町をはじめ地域の知名度のアップにつなげ、交流人口の拡大や観光振興の促進を図ることを目的に「第3回奈半利町ちびっくトライアスロン」が、みなと未来会議の主催で開催された。

大会は、ふるさと海岸を舞台に行われ、高知県内各地から81人の

小学生の参加があり、水泳、自転車、マラソンの3種目で競い合った。町の知名度のアップ、交流人口の更なる拡大のためにはこういった地域内外住民参加型の取り組みは必要不可欠であると考えている。

○出会い応援事業

8月26日、奈半利町海浜センターにおいて、「海コン！NANA H A R I 2012」を開催した。

この事業は、出会いを求める人たちが幸せをつかむことができるまちづくりに向けて、交流機会の創出を支援することを目的としている。

イベントでは、奈半利町海浜センターを利用し、男性は町内の20～50歳程度の独身者13人、女性は県内の20～50歳程度の独身者14人の計27人が参加し、海でのイベントやバーベキュー等を通して交流を深め、結果4組のカップルが誕生した。

今後このようなイベントを実施し、地域住民の協力を得ながら、当町における少子化対策及び人口の増加と当町のPRを図る。

○港まつり

第49回港まつりは、8月16日に多くの住民ボランティアの協力のもと、祈願祭・シーカヤック競争大会・船舶パレード・花火大会等を行った。花火大会では新たな試みとして音楽花火を導入し、例年とはひと味違ったものとなった。

高知県東部、ごめん・なはり線沿線住民を含めた多くの観光客が、参加体験し、地域住民との交流が図られた。今後も県東

部を代表する祭りとして、交流人口の拡大を図り、観光産業の充実に努めていく。

○中学生海外派遣事業

8月20～27日までの8日間、「平成24年度奈半利町中学生海外派遣事業」を実施した。中学生5人と引率2人の計7人の参加でオーストラリアのシドニーでのホームステイと現地の中高一貫校との学校交流を行い、オーストラリアの子どもたちと貴重な交流・学習をすることができ



▲オーストラリアでの学校交流

た。

今回の派遣事業は、8月に実施したことで、現地の学校との交流が実現し、心身共に成長を促す意義のある事業となった。

○災害関係

平成24年度23災農業施設災害復旧事業久礼岩水路災害復旧工事は、平成24年6月発注し、工事費146万円で平成24年8月に完成した。

平成24年度23災公共土木施設災害復旧事業丸山線道路災害復旧工事1は、平成24年6月発注し、工事費206万円で平成24年8月に完成。同じく町道丸山線道路災害復旧工事2は、平成24年6月発注し、工事費109万円で平成24年8月に完成した。

6月15～22日の梅雨前線豪雨・台風4号及び7月11～13日の梅雨前線豪雨は近年にない集中豪雨であり、高知県・福岡県・熊本県・鹿児島県で観測された最大時間降雨量はそれぞれ観測史上1位を更新した。

西日本では、この大雨で、河川の氾濫・土砂災害・浸水害等が

発生し、死者・行方不明者・家屋損壊等の被害があった。高知県では、田野町で時間雨量80mmを超える猛烈な雨により、浸水等の被害が発生した。

当町においては、6月15～22日にかけての豪雨で公共土木災害、河川1カ所、査定決定額282万円の災害が発生した。

また、7月11～13日にかけての豪雨で農地農業用施設災害、農地1カ所、査定申請額70万円を9月24日の農林災害査定に向けて災害申請事務の作業を行っている。

○本村簡易水道配水管 布設替工事

国道を挟んで北と南に工区分けて、平成24年6月7日に発注した。南側の工区は、横町法恩寺線の福祉センター付近を起点とし、奈半利小学校の西を終点とした延長810mで、工事費は3,496万円で契約、北側の工区は、東町妙見線と大除法恩寺線の交差点付近を起点とし、横町の住吉神社付近を終点とした延長571mで、工事費は3,360万円で契約した。この事業は震災対策として、

町内の主要な配水管を耐震性のあるものに順次交換しているもので、本年度事業は、平成25年2月15日の完成予定となっている。

中芸広域連合関係

○消防業務

消防庁舎建設については、造成工事部分の表土部分を剥ぎ取る工事を実施しており、盛土材についても河川残土等を国土交通省、安芸土木事務所等に調査及び情報提供を依頼している状況である。

庁舎本体部分については、プロポーザル方式で業者選定業務を実施しており、基本設計部分について契約締結に向け準備を進めている。

○その他

介護保険業務
火葬場業務
保健福祉業務
広域観光業務
全国健康福祉祭
等の行政報告が行われた。

委員会調査活動報告

ダム公害対策特別委員会 中間報告

奈半利川濁水対策として埼玉県秩父市の浦山ダムに整備された清水バイパスを視察・調査したので、その概要を報告する。

○日時

平成24年5月14日

○場所

埼玉県秩父市
荒川ダム総合事業所浦山ダム
秩父漁業協同組合

○調査事件

清水バイパスの整備状況及び効果について

○調査経過

奈半利川濁水対策として整備が検討されている、小川川から取水し、平鍋ダム下流に清水を供給する清水バイパスの効果を調査するため、既に運用を開始している浦山ダムでの整備状況

や水質の改善状況等についての現地調査を行い、担当者から説明を受けた。

○調査概要

(1) 浦山ダムの概要

浦山ダムは埼玉県の秩父盆地南方の山中に建設された重力式コンクリートダムで、ダムの規模は、堤高156m、流域面積51.6km²、総貯水量5、800万

m³。平成10年度に完成し、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の補給及び発電などの多目的ダムである。

(2) 清水バイパス整備の経過

ダム完成後の平成11年8月と平成13年9月の2度にわたり記録的な豪雨の出水により貯水池の濁水状況が長期化する事象が発生し、下流域河川に長期間にわたり濁水を放流する状況となっていた。ダム下流の浦山川では、濁水の長期化により良好な景観が悪化し、地域の観光資源に影響を与え、さらに浦山川から取水している沿岸住民の水源である上水などの利水にも支障が生じていた。

また、濁水の長期化に対し地元自治体、利水者、漁協などから改善の要望書が出るなど社会的な問題となった。この状況を改善する抜本的な対策として国土交通

(3) 清水バイパスの概要

清水バイパスは、洪水などによりダムの貯水池が濁っても、ダム上流取水設備から澄んだ水を取り出し、バイパス管を通して貯水池を迂回し、直接下流へ放流する施設である。総事業費は29億円、延長6.2km、管の内径は1mで最大通水量は毎秒0.7t、工期は平成15～18年度。

浦山ダムと奈半利川水系のダムでは地形や濁水の原因、時期など条件に違いはあるが、清水バイパスにより清水を常時放流することができれば、河川の水質や環境改善の効果が期待できるため、更新期に向けて高知県に清水バイパスの整備を強く働きかけていく。



▲清水バイパスの調査（管理事務所）

(4) 清水バイパスの効果

清水バイパス整備前の平成18年11月14日にはダムに入ってくる流入量が約270m³/sで、放流濁度10度以上の日数が約130日続いたが、清水バイパス整備後の平成19年9月7日には流入量が約330m³/sで清水バイパスを使った結果、それが約30日に軽減された。ダムへの流入量の違いなどの問題はあるが、かなりの効果が発揮された。



▲清水バイパスの現地視察（浦山ダム）

ダム公害対策特別委員会 中間報告

(7月11日)

調査事件について現地調査を行い、安芸森林管理署、安芸土木事務所、安芸林業事務所の各担当者から事業計画・工事の進捗状況等の説明を受け協議を行った。

○調査事件及び概要

(1) 魚梁瀬ダム上流域の国有

林、林道の現状及び管理方法について

魚梁瀬ダム上流の東川、中川での治山工事箇所を現地調査し、安芸森林管理署の署長及び担当者から平成24年度の森林整備計画等の説明を受け、今後の取り組みについて調査した。

(2) 平鍋地区及び小島地区の災害復旧工事の状況について

昨年の台風6号で被災した北



▲災害復旧工事の現地視察（平鍋地区）

川村平鍋地区の大谷川、小島地区の池谷川の災害復旧工事箇所を現地調査し、安芸土木事務所の所長、担当者及び安芸林業事務所の担当者から工事の進捗状況等の説明を受け、今後の取り組みについて調査した。

総務民生常任委員会

(9月7日)

委員会の所管する総務課、教育委員会から調査事件の経過・状況等の説明及び報告を受け協議を行った。

○調査事件及び概要

(1) 予防接種による健康被害の救済について

予防接種法に基づき受けた日本脳炎予防接種による健康被害事例について、審査結果、救済



▲建設中の2号津波避難タワー

内容、町の負担等について調査した。

(2) 住宅耐震化事業について

耐震診断、耐震改修設計事業等の実施状況や事業の周知方法について調査した。

(3) 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)について

国が公表した当町における津波高や浸水域の想定及び避難経路、避難場所の住民に対する周知方法について調査した。

(4) 教育施設の太陽光発電設備について

奈半利小、加領郷小、奈半利中学校への太陽光発電施設の整備計画について調査した。

地域振興常任委員会

(9月7日)

委員会の所管する地域振興課から調査事件の経過・状況等の説明及び報告を受け協議を行った。

○調査事件及び概要

(1) 平成24年度各工事の進捗状況について

工事の進捗状況及び発注計画について調査した。

(2) 有限会社なはり観光文化協会の経営状況について

第9期営業報告の内容について調査した。

(3) メガソーラー候補地の調査結果について

JCサービスの調査結果の報告内容について調査した。

◆決算

○概要

平成23年度決算は、一般会計では、収入済額36億7、668万円、支出済額36億4、130万円、繰越明許費1億2、895万円、実質収支3、251万円となった。

前年度と比較すると、歳入では25・3%（7億4、322万円）増、歳出では29・4%（8億2、654万円）増の決算となった。

○基金残高・起債残高

基金残高（貯金）は、平成23年度末で27億2、126万円。一方、起債残高（借金）は、26億1、442万円で繰上げ償還及び行政改革の効果により減少している。

○経常収支比率

平成23年度は91・3%で前年度より3・1ポイント増加した。

※ 経常収支比率とは

公債費・人件費などの「固定費」が、税など自治体が自由に使える金額に占める割合で、数値が高いほど財政が硬直化した状態を示す。

○実質公債費比率

平成23年度は、10・6%で、前年度から2・2ポイント減少し、昨年度同様に起債を発行する際に許可を必要とする基準の18%は下回っている。

※ 実質公債費比率とは

自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合で、数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。

○歳入（一般会計）

増額となった主な要因は、情報通信基盤整備事業等の国庫支出金が対前年度比362・50%（7億8、105万円）の大幅増となったためである。

地方交付税と臨時財政対策債

の合計は16億2、356万円で、前年度より5、449万円の減額となったが、歳入全体の44・2%を占め、依然として高い依存率を示している。

○歳出（一般会計）

増額となった主な要因は、情報通信基盤整備事業等による総務費の9億2、674万円増（対前年度比232・82%増）、南海地震対策等による消防費の6、436万円増（対前年度比47・51%増）などによる。

情報通信基盤整備事業により、中芸4町村（奈半利町、安田町、北川村、馬路村）共同で超高速通信網（光ケーブル）の整備を行い、これにより町内全域においてインターネットサービスの高速通信が可能となると同時に、地上デジタル放送難視聴世帯の解消にもつながり都市と田舎の情報基盤整備の格差が解消された。

南海地震対策では、木造住宅耐震診断、耐震改修設計、耐震

改修工事、自主防災組織に対する防災資器材購入等の補助、防災拠点施設となる庁舎の耐震補強工事を実施し防災機能の向上を図った。また津波対策として、津波避難計画を策定するとともに津波避難タワーの建設や奈半利小、奈半利中、加領郷小、愛光園の避難場所へのソーラー照明灯の設置、津波浸水域看板の増設など住民の避難対策を行った。

質疑

問 漁業集落排水事業特別会計の収入未済の原因は。また、修繕費など不用額が出ないよう予算処置できなかったか。

答 滞納者と連絡が取れなくなり未済となったが、徴収事務は進めている。可能な限り不用額が出ないよう適切な予算処置を行う。

平成23年度各会計決算の状況

会 計 名		平成23年度 (歳入)	平成23年度 (歳出)	平成22年度 (歳出)	前年度対比 (歳出)	採決結果
一 般 会 計		36億7,668万円	36億4,130万円	28億1,476万円	129.4%	賛成者全員
特 別 会 計	国民健康保険	6 億0,271万円	5 億7,370万円	5 億4,328万円	105.6%	賛成者多数
	簡 易 水 道	5,641万円	5,053万円	5,413万円	93.3%	賛成者多数
	漁業集落排水	1,101万円	919万円	952万円	96.5%	賛成者全員
	後期高齢者医療	4,951万円	4,934万円	4,850万円	101.7%	賛成者全員
	老 人 保 健	—	—	235万円	—	
合 計		43億9,632万円	43億2,406万円	34億7,254万円	124.5%	

◆人事

教育委員の選任意意

山崎十四子氏 両氏選任
谷岡 志乃氏

教育員の任期満了に伴い、両氏の教育委員への任命同意を求める議案が提出され、無記名投票の結果、両氏とも賛成者全員で同意された。

住所 奈半利町乙1214番地3
生年月日 昭和14年9月22日



山崎十四子氏

住所 奈半利町甲109番地1
生年月日 昭和32年11月12日



谷岡 志乃氏

◆報告

○有限会社なはり観光文化協会の経営状況について

有限会社なはり観光文化協会の第9期営業報告が提出された。平成15年7月1日に設立し、9年が経過した。経営状況については、収入合計1,734万円、売上総利益額794万円、販売費988万円で当期純損益は193万円となった。

質疑

問 決算報告書の貸借対照表にある、たな卸資産217万円の内容は。

答 イメージキャラクターのぬいぐるみなど。早急に適切な処理をする。

問 指定管理料200万円に対し、27万円の不用額が出ているが、その処理方法が公金の取り扱いとして不適正ではないか。

答 高知県や近隣町村の事例を調査し、報告する。

◆条例

○奈半利町一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例

この条例は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、これまで環境省令へ委任されていた町が設置する一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格基準について制定するもの。

賛成者全員（可決）

◆意見書

○地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

提出者 森岡 昌敏 議員

賛成者全員（可決）

○伊方原発の再稼働を行わないことを求める意見書

提出者 竹内 哲夫 議員

賛成者全員（可決）

○鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

提出者 岩内 博 議員

賛成者全員（可決）

◆補正予算

本定例会に提案された補正予算は、一般会計と特別会計の国民健康保険事業、後期高齢者医療、簡易水道事業、漁業集落排水事業の4会計で、審議の結果すべて可決された。

質疑

問 普通交付税の減額の主な原因と将来の財政運営に与える影響は。

答 基準財政需要額に算入される公債費の減額が主な原因である。今後普通交付税は減少傾向にあると考えられるので、総合計画の事業を実施するために有利な起債の検討や基金の取り崩しで対応していく。

問 加領郷漁協関係の補助金が減額されているが、見切り発車的な予算を組んでいないか。

答 水産業振興のため必要な事業であったが、地元漁業者間の合意形成ができなかったため減額とした。今後は、このようなことがないように計画的に進める。

9月補正予算の概要

会計別		補正	補正額	補正後の額	採決結果
一般会計		2号	2,742万円追加	27億3,288万円	賛成者全員
特別会計	国民健康保険事業	2号	2,031万円追加	5億9,795万円	賛成者全員
	後期高齢者医療	1号	6万円追加	5,305万円	賛成者全員
	簡易水道事業	1号	446万円減額	1億2,353万円	賛成者全員
	漁業集落排水事業	1号	50万円追加	1,240万円	賛成者全員

砂防ダムを掘り上げできないか

適切な工法を検討し、早期に対応する／町長

問 加領郷地区の五軒丁谷と琵琶ヶ谷には、7基の砂防ダムが建設されている。しかしながら、そのうちの5基が土砂で満杯になっており、砂防ダムの機能を果たしていないと思われるが、ダムに堆積した土砂を掘り上げすることはできないかを問う。

この五軒丁谷と琵琶ヶ谷は加領郷地区の住宅地を通り、加領郷漁港へと流れているが、砂防ダムが、満杯のため、過去には上流域の山の崩壊により流れ出た大木がダムを越流し、旧国道を横断している暗渠に詰まり、周辺の民家が浸水するなどの被害が出たこともあった。また漁港には流木や土砂が流れ込むことが原因で、港が浅くなり、幾度となく土砂を掘り上げている。漁業関係者が船を守るのに大変苦労している。

特に琵琶ヶ谷については、山が崩壊して流木が詰まれば、加領郷小学校が浸水する心配もある。

地域住民が安全で安心して生活できるためにも、土砂などで満杯になっているこれらの砂防ダムを

掘り上げることはできないか。

答 細川地域振興課長

砂防ダムは上流に土砂を堆積させて河床をゆるやかな勾配に安定させるために作られたダムであり、ダムが満砂になった場合は、新たにダムを建設することが、基本的な考えである。

砂防ダムが満砂になる原因が、ダムの側面からの崩壊に原因があるなら、現状を把握し、関係機関

と協議を行い、その措置を講じていく。

答 齊藤町長

砂防ダムの基本的な考えは、課長の答弁のとおりであるが、浸深することも考慮し、関係機関である林業事務所や土木事務所と危険箇所の視察や協議を行い、緊急を要する状態であれば、地元の意見を尊重しながら、最も適切な工法を検討し、早期に対応したい。



▲満砂となった砂防ダム（琵琶ヶ谷）

議会を傍聴してみませんか？

あなたの傍聴が議会を活性化します

次の定例議会は12月中旬です



議会事務局: ☎38-8183



いじめ・不登校等に対する 生徒指導上の対策は

関係機関・保護者・地域と連携して取り組む／教育長

問

いじめ・不登校問題については、今や大きな社会問題へと発展しているのが現状である。現在のいじめは、その内容も質も、昔のいじめとは全く違う様相を見せている。この現在のいじめが日本全国に蔓延し、子どもたちの人生を狂わせ、多くの悲劇や子どもたちの未来への自信喪失・自尊心の欠落を生み、そして今、社会で問題となっている不登校や引きこもり・ニート・自殺といった問題の引き金にもなっているのが現実である。

この問題の解決に向けては、実態把握・認識が重要であり、学校・保護者・教育委員会・地域社会が連携し、問題解決に向けて努力していくことが重要だと考えるが、現在の当町の状況・実態をどこまで把握しているのか、そして問題にどう取り組んでいくのか、見解を伺う。

答

竹崎教育長

いじめとは、「一定の人間関係のあるものから心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの、いじめか否かの判断は、表面的・形式的ではなく、子どもの立場に立ち考

え、場所は学校内外を問わない」と定義づけられている。先日、平成23年度の生徒指導上の諸問題に関する調査結果が公表され、これに基づく当町のいじめ認知件数は、小学校4件、中学校1件であり、学校での指導、内容によっては、保護者も交えて話し合い、すべて解決している。

いじめ問題への取り組みは、日頃の子どもを見守る教職員の目が、予防、早期発見に極めて重要であると考えている。そのため、アンケート調査、学級満足度調査、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、教職員の研修を実施し、早期発見・早期対応に努めるとともに、いろいろな活動・行事を通じて、人権の尊重について、指導している。

いじめはどんな学校、学年でも起きうるといふ認識のもとに、関係機関、保護者、地域との連携を深め、いじめのない学校づくりに取り組んでいく。

問

平成20年度に改正された新しい学習指導要領において、キャリア教育を推進していくため、新たに柱の一つとして位置付け、小学校では平成23年度から、中学校で

は平成24年度から、全面实施するよう定められたところであり、高知県版では、学力向上・基本的生活習慣の確立・社会性の育成の3つの柱に基づき、取り組みを進めているところである。

第一に、基礎学力の定着や、自ら考え・自ら学ぶ力の育成を図ること。第二に、家庭学習の習慣性を図り、見通しをもつ力・やりぬく力を育てていく。第三に、郷土を愛する心や、勤労・職業観の育成を図ること。以上3つの目標達成に向けての、当町での、就学前・小学校・中学校における取り組みの現状を伺う。

答

竹崎教育長

キャリア教育とは、「一人ひとりの社会的・職業的自立にむけ、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」である。県教育委員会では、「志」をもった子どもたちを育成するために、3本柱を立て、キャリア教育を推進している。

就学前は、人間形成の重要な時期であり、集団生活の環境になじみ、友達と生活する中、各行事等への参加などにより、より豊かな生活体験が得られる指導を行って

いる。小学校は、学年ごとに重点指導目標をたてて指導しており、学力向上では、デジタル教科書の導入等による授業改善、単元テストの実施、チャレンジタイムでの読書、辞書引き学習による言語力の向上など。基本的な生活習慣確立では、生活アンケートの実施、家庭学習の定着など。社会性の育成では、農業体験・勤労体験、昨年度作成した副読本を活用した学習を実施している。中学校では、生徒自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち自らの意志と責任で進路を決定する能力と態度を育成し、その他保護者・地域・小学校・高校等と連携による取り組みを行っている。

キャリア教育を実践し、学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結びつけることにより、児童生徒の学習意欲を喚起することとしており、この視点に立って、指導・教育を行っている。

ゲリラ豪雨への対応策は

関係者の意見を聞き、対応策を検討する／地域振興課長

問 近年の異常気象のもたらす影響は、豪雨に落雷、竜巻、そして超大型台風と多岐にわたっている。特に、近年全国各地で猛威をふるい、大きな爪跡を残しているのが集中豪雨である。多くの人命や家屋、道路、橋等への影響たるや、強烈過ぎて、その勢いの凄さから「ゲリラ豪雨」という名称まで付くありさま。当町においても、今年7月12日早朝の豪雨は、車瀬、中里地区を中心とした集中豪雨により、佐古谷川や車瀬地区南部の急峻な谷では、土石流の流入が大きく、特に佐古谷川では今年1月22日「きれいな町をつくる会」により、町内のボランティアによって、土砂の除去作業を行ったが、半年後にはまたもや土砂、岩石で埋め尽くされ、再び撤去を余儀なくされている。これは毎年のように繰り返されており、これらの経費の無駄を考慮し、抜本的対策を講ずべきと考える。

佐古谷川では、多気・坂本神社境内入口の太鼓橋から上流約20mくらいまでの河床面はコンクリート張りではあるが、その上流部の河床は、岩場のままで、側面も石積み目の堤で崩壊の危険性は極めて高いものと臆測する。また、車瀬地区南部斜面の水路は三面張りコンク

リートではあるが、周辺の山腹からの土砂流入に対する抜本的対策を願いたく、次のことを要望する。
佐古谷川の河床、側壁をコンクリート張りに改修を。



▲土砂で埋め尽くされた枕砂地(佐古谷川)

答 細川地域振興課長
佐古谷川は、降雨と同時に急激に水位が増水する河川であり、また河床勾配もきついことから上流から土砂とともに流れ下り、最下流の沈砂地には大量の土砂が溜まる。そのため、過去には多数の災害が発生し、その都度、復旧してきた。近年では台風のような異常気象も発表されていない、思いもよらぬ時に集中豪雨が発生することが度々起こるようになってきた。今後発生するかもしれない河

川災害に対し、提案の工法も考慮し、対策を検討していきたい。

問 佐古谷川の砂防ダムは現在、2基あるが、いずれも満杯状態で、その機能は果たされていないと思われる。もう1カ所、砂防ダムを建設すべきでは。

答 細川地域振興課長
佐古谷川砂防ダムの存在は把握しており、今一度ダムの現状を確認した上で新設砂防ダム建設等の要望をしていく。

問 車瀬地区南部水路は、町道から約200m上流部の南側斜面の山腹からの土石流入が原因で、下流域には高規格道路が通り、道路下水路の暗渠部分に土砂や倒木等が詰まることも予測され、対応を。

答 細川地域振興課長
近年、過去に降った雨以上の雨が短時間のうちに集中的に降っている。このことは、小さい谷川などの溪岸浸食、つまり今まで流れていた高さの岸以上の部分を流れることにより、岸が崩落し土砂となって流れ出すものであろうと思われる。集中豪雨により水路の

カーブの部分など越流する箇所などが浸食されている部分については、水路壁の高上げや山留工の設置など、今後対策を検討していく。

問 車瀬・中里地区の境界地点の町道は低く、また水路にしても高低差が少ないことから、流れも悪く、しかも豪雨時には常に冠水するが、抜本的な対策を。

答 細川地域振興課長
奈半利町用の排水路の中で最上部を流れる用排水路であり、最終到着地点は深田の箇所までをカバーしている水路である。ご指摘の箇所については、近くに住宅、また用水を必要とする田、それら山から排水される水も受けることから、多様な用途が要求される水路であり、先輩が大変苦労して工事をしたと聞いている。そのため、地域高規格道路建設時には、新たな排水路の設置、また芝崎ほ場整備施工時には、上流部、下流部に自動転倒ゲートを設置するなど、施設改善に努めてきた。先日の大雨の時は、道路に越流しているとの通報があり、現地を確認している。今後関係者の意見を聞きながら、対策を検討していきたい。

中山間地域対策の 集落活動センターの設置を

人口減少が急激に進む中山間対策として検討／地域振興課長

問 高知県の集落調査の結果が公表され、今後10年で集落が消滅または衰退するとの予想で厳しい現状が明らかになった。中山間地域への対策を抜本的に強化するため、地域住民が主体となつて近隣の集落との連携を図り、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組みをつくるため、10年間で県内130カ所程度の集落活動センターの設置を見込んでいる。

答 細川地域振興課長
平成23年度に高知県集落調査が実施され、調査方法は調査員が集落代表者に面会し、集落の活動等についての聞き取り調査が行われた。当町の集落では、神社等の維持管理、用水路の清掃、草刈りなどを実施し、近隣の集落と行事を連携することで集落間での活性化を図っており、愛着や誇りを感じている。今後は、集落の資源を生かした活性化を図りたいとの調査結果が出ている。

平成22年10月に大原・西ノ平生産組合を設立し、自己保全農地や耕作放棄地の増加を防ぐ集落営農に取り組み、関係機関により毎月連絡会を開催して情報の共有を図り、今後の活動を模索するなど検討を重ねている。集落活動センターは地域住民が主体となつて地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組みで、人口減少が急激に進む中山間地域対策として検討する。大原・西ノ平地区は農業が盛んで、加領郷地区は漁業が盛んなところで、農林水産物直販所の設置は、地域活性化につながると考えている。

問 事務事業は、法定受託事務と自治事務に区分され、その執行は、組織及び運営の合理化に努め、最小の経費で最大の効果を挙げること、すなわち、住民負担の軽減を図り、行政効率を向上することが要請されている。そして法令に違反してその事務を処理してはならないと定められている。

行政改革の観点から、行政効率向上、行政の一体性確保のため、事務の委任、事業の委託、指定管理者制度による公共施設の管理運営、補助金の支出などが法令に基づいて適正に執行されているか。

答 久川総務課長

平成17年度から行政改革大綱により、計画的な職員定数削減や課の統廃合、幼保一元化等の組織機構の見直しを行い、公の施設は、指定管理者による奈半利駅舎や農業漁業施設を合わせて13施設の管理運営を民間委託への推進を図り、組織及び運営の合理化を目指し、行政効率の向上に努めてきた。

また、補助金については、補助金交付規則によつて申請から交付そして実績報告までの事務処理を行っており、特に自治事務については、町の法律である条例の制定は欠かせない。必要な条例、規則を制定し、それに基づいて適正に処理されていると認識している。

職務給の原則を十分認識されているか。

答 久川総務課長

職員の給料は、職種別に職務と責任の度合いを示す「級」を横系とし、経験の度合いを示す「号給」を縦系として構成され、給与に関する基準として、職務給の原則、均衡の原則及び給与条例主義の原則の3原則が定められており給与決定の根本原則といわれている。これは給与が職員の勤務に対する対価であることを示すとともに、職務と責任に応じて決定されなければならないという職務給の原則を明らかにしたものである。

問 職員は、職務を遂行するに当たつて法令などの定めに従わなければならない。職員の給与は職務給の原則によるもので、職務と責任に応じたもので、法令の順守、

職員は、この職務給の原則を十分認識し、その責任と職務に取り組むことはもとより、職員一人ひとりが全体の奉仕者であることを改めて自覚し、行政はサービス業という観点に立ち、顧客である住民の信頼と付託に応えていくため、常に目的意識と高い意欲を持つて自らの能力開発に努めるとともに、組織は自己啓発に取り組みやすい職場の環境づくりや自己啓発に取り組み職員を支援し、組織としての総合力を高めていく必要がある。

地震・津波対策を受けて万全の取り組みを

津波高は平均11m、浸水域は国道55号より上に
浸水、かなり拡大する／総務課長

問 8月29日、南海トラフの巨大

地震が四国沖で起きた場合、県内の死者数が最悪で4万9千人、建物全壊が23万9千棟に上る。その被害想定を内閣府が公表した。死者数は2006年の県の想定約5倍といわれ、死者の7割以上は津波が原因と想定している。津波に巻き込まれた場合に、ほぼすべての人が死亡するとされた「水深1m以上の浸水面積は、全国でも最も広い面積に及ぶ可能性があるとされた。今後、国・県も避難対策、防災対策に全力をあげると表明した。このように極めて深刻な新想定であるが、速やかに避難をし、家屋耐震補強工事等、万全な対策をとれば犠牲者をゼロに近づけることができることも併せて想定し、住民と行政が力を合わせ万全な対策を強めなくてはならない。

答 久川総務課長

最大津波高は8月に公表された値では16m、津波高1mの到達時間は7分であり、浸水域は奈半利川の

遡上は鮎の瀬公園付近まで、陸上部

では芝崎・樋ノ口・白石の一部、平松・法恩寺付近となっており、以前より浸水域はかなり拡大している。本町に等しく16mの津波が押し寄せてくるものではなく、平均の津波高は11mで、津波からの避難に影響がある浸水深30cmの津波が到達する時間は15分となっている。

標識については、本年度、見直しの完了が予定。順次整備を実施したい。震災避難場所の階段の手すりは設置し、高齢者・障害者にやさしいつくり改修したい。

問 地震から命を守るため、住宅耐震改修事業、避難道に面したブロック塀等の助成事業の進捗状況、自主防災組織の組織率、問題点や課題はないか。

答 久川総務課長

耐震診断は8月末で10件すべてが完了し、9月補正で10件補正計上した。耐震設計・耐震工事は、まだ申請はないが、3〜4件申請希望があがっている。ブロック塀等安全対策事業は1件の申し込みがある。耐震工事については、診断が終わった後、10件近くの申請があると考えている。機会をとらえ

てPRし、耐震工事につなげたい。

自主防災組織は23地区中19地区を組織し、組織率は91%となっている。設立されていない3地区については、津波が想定されてお

り、早急に設立を目指したい。震災があれば、町内会が自主防災組織等の役割は決定的に大切である。自助・共助・公助について考えていただき、各地区の自主防災組織とともに防災意識の向上に努めたい。

問 奈半利港北側防潮堤と奈半利川護岸、奈半利川河川改修の見通しは。

答 細川地域振興課長

港の北側防潮堤については、港内に入ってきた津波を一定抑える工事のルート選定について、現在、県単独事業で設計等を発注しており、今後の調査により、奈半利川左岸護岸との連携ルート、工法等の方針が決定される予定である。早期着工を要望していく。

奈半利川護岸、河川改修は平成24年度が事業再着手、奈半利川広域河川改修実施測量及び用地測量委託業務の2件が高知県から発注されており、用地取得等が完了すれば早期に工事を着手するよう要

望する。

問 地震津波避難対策としてヘリポートは重要。早急な取り組みを。

答 久川総務課長

愛光園周辺1カ所、白石・ふもと周辺2カ所を選定し、5月に高知県の消防防災航空隊に依頼し、6月、7月の2回、上空適地調査を行った。10月には中芸消防署と消防防災航空隊と一緒に地上での現地調査を行い、候補地の検討をした。候補地を選定し、用地が確保され次第、整備をしていきたい。

問 新想定では、四国全体が震源地といわれている。伊方原発は一層危険となってきた。再稼働反対・廃炉を求めるべきだと思えるが、見解は。

答 久川総務課長

伊方原発の再稼働問題は、前回の答弁通り、近隣県でもあり、また周辺自治体の代表として要である県が率先して関わるべきだと考える。伊方原発については、十分よりさらに高い安全対策が構築されないかぎり、再稼働すべきでないと考えている。一日も早い原発に依存しない社会の実現を望む。

中川 和明 議員

ふるさと海岸に 公衆トイレの建設を要望する

ふるさと海岸には必要な施設／地域振興課長



▲ふるさと海岸

問 ふるさと海岸を活用した観光振興事業の推進を行う海浜センター、また体験型観光として、中芸観光協議会も設立され、広域的な観点から積極的に取り組み、交流拡大に努めている。しかし、トイレが少ないと苦情があり調査すると、海浜センターにはトイレが室内に男女共同の一組があるだけで、利用者から苦情がある。
四国88力所を参拝する遍路さんなども海浜センターでトイレを借り、常用していると調査で聞く。しかしながら、海浜センターは、10月

から来年3月まで運営事業は休業である。毎日、安田町・田野町・北川村などの町外からも散歩に来ており、ふるさと海岸を毎日の日課で散歩している人たちにとっては、トイレがなく困っている。
町民が毎日ウォーキングなどの運動で健康な足腰をふるさと海岸で鍛え、健康な体を守ることは、国民健康保険の医療費の抑制にも役立っていると考え。
海浜センターの外にトイレの建設ができないか、考えを問う。

答 細川地域振興課長

ふるさと海岸は、近年整備が完了し、多くの人々が訪れている。
毎日の健康ウォークにより、健康増進に向け取り組む町民も多数おり、また海辺の学習活動、観光事業などの事業実施においても公衆トイレは、ふるさと海岸に必要な施設であると考え。



▲急勾配の避難路（加領郷地区）

町内には、他にも公衆トイレの設置要望もあり、併せて、国、県補助事業を模索するなど、財政担当課と協議を行い、管理面での検討を実施し、建設に向け努力する。

問 9月2日に避難訓練を行ったが、どのような課題、問題点があったのか。

その一つとして、加領郷の東の先、漁協の上にある住民の人たちの裏山が避難場所であり、避難場所までの避難路にコケが群生して、避難場所まで上がることがで

きなかったと聞くが早急な対応を。また、避難場所への上り道に段差作って、滑り止めを作る考えを聞く。

答 久川総務課長

質問の裏山に上がる道についての整備については、コンクリート舗装がされ、手すり等も既に設置されている状況である。

ただ、コケが覆っており、幾分勾配が急であるため高齢者にとって歩行には支障があると考えるので、路面に滑り止め対策を検討する。

平成24年度 米ヶ岡農業体験日記

今年も、米ヶ岡の農業体験による収穫の時期が来ました。

中学1年生

稲刈り・脱穀体験

10月15日(月)に奈半利中学校の1年生が先陣を切って稲刈りをし、10月24日(水)に脱穀を行い、農家の苦労や食べ物の大切さを学ぶことができました。みんな、ひと粒のお米を最後まで拾い、新米が取れました。



小学5年生 稲刈り

続いて10月17日(水)に、小学5年生が稲刈りを行いました。小学校の田んぼでは、お米とおもちの苗を一緒に植えているので、最初にお米とおもちの区別の仕方から勉強をし、しっかりと分けてハゼにかけることができました。落ちている穂も一生懸命拾い最後まで頑張ることができました。

今回小学5年生・中学1年生が愛情と丹精込めた自信作「ヨネガオカ米」をとれたて産地直送で給食へお届けします。みんなおいしいご飯を一粒も残さず食べることでしよう。地域の方、かわつていただいた関係者の方々本当にありがとうございました。



林鉄出前授業IN奈半利小学校

出前授業では、「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」の西尾寿公副会長が、森林鉄道が木材の運搬だけではなく、住民の交通手段としても利用されていた歴史を紹介。その後、児童は田野町を拠点に活動する「単三(YK)と一緒に」のテーマソングを合



中芸5町村にまたがる国の重要文化財「旧魚梁瀬森林鉄道施設」のテーマソングを、地域で歌い継いでもらおうと9月21日(金)、奈半利小学校で「魚梁瀬森林鉄道開通100周年記念実行委員会」の出前授業が行われ、奈半利小学校5・6年生と加須郷小学校4・6年生の児童で合唱しました。

ふれあい体験交流



10月3日(水) 4日(木)にかけて、4回目となる土佐あかうしのふれあいを通じ、いのちの大切さを学んでもらうために、JA土佐あき肉用牛部会奈半利支部と県畜産振興課等とバーベキュー体験や生後間もない土佐あかうしと触れ合う体験等を行いました。

学校から米ヶ岡へあがつてきた児童は、まず地元の土佐あかうしや奈半利の取れたての新米を使つてのバーベキュー体験を行い、大寺平さんの牧場で竹崎稔さんの生後間もない子牛にミルクをあげたり、心臓の音を聞いたりといろんな体験を行いました。

支部長の竹崎稔さんは、今後もこういう活動が続いていのちの大切さを学んでもらい、地元のお肉も消費していただきたいとのことでした。

準備等に携わった関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



元気いっぱい 幼稚園・小学2年生芋掘り



10月16日(火)に幼稚園児、10月30日(火)に小学2年生が米ヶ岡で芋掘りの体験をしました。

幼稚園児は芋掘りをした後、保護者が作ったカレーをみんな口いっぱい頬張っていただきました。芋掘りの作業をした後だったので、みんなおなかをすかして、おかわりをする子どもがたくさんいました。

小学2年生は雨天のため、一週間の延期となり最後の米



ヶ岡での収穫体験作業となりました。当日は、晴天で芋掘り日和となり、児童たちは大きいお芋を掘り興奮していました。

みんなたくさんお芋を掘り、お芋でいっぱいになった袋をがんばって持ち帰りました。



共同参画の町・奈半利をめざして

奈半利町住民福祉課

0887(38)8181

知っていますか？

DVは、重大な人権侵害です！

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、配偶者や恋人に対する暴力のことで、重大な人権侵害です。

身体的な暴力の他にも、
・長時間の無視・外出の制限
・人格を否定する暴言・生活費を渡さない・性行為の強要
などのさまざまな暴力があります。

暴力は、男女を問わず、いかなる場合も、決して許されるものではありません。あなたが、配偶者や恋人から暴力を受けている、または、暴力をふるってしまっている時は、一人で悩まず相談してください。



奈半利町では男女共同参画をテーマにした「川柳」を募集しています。

問い合わせ▼住民福祉課

☎38-8181

主な相談先

相談先	女性相談 支援センター 〔配偶者暴力相談 支援センター〕	こうち男女共同 参画センター 「ソーレ」	役場窓口
対象者	女性 DV被害者である男性	女性 男性	女性 男性
電話番号	☎ 088-833-0783	女性向け ☎ 088-873-9555 男性向け ☎ 088-873-9100	☎ 38-4012 保健センター ☎ 38-3451
相談 時間など	平日 9時～22時 土・日・祝日 9時～20時 (年末年始は休み)	女性向け 9時～17時 男性向け (予約制) 第1、3火曜日 18時～20時 (第2水曜日、祝日、 年末年始は休み)	平日 8時～17時

今月の川柳

デイサービス 送った後で ティータイム
単身の 妻が明るく 生きている
子づくりは 男女参画 元祖なり
おいしい お茶 黙って硬貨 渡す妻
横山美智子 横山美智子 森 美恵 森 美恵

国民年金の
お知らせ

国民年金、厚生年金のご相談と手続き先

- 国民年金の第1号被保険者は市区町村で 自営業者などの国民年金の第1号被保険者の方の年金の相談と各種の届け出、手続き先は、お住まいの市区町村の国民年金の窓口となっています。
- サラリーマンとその被扶養配偶者の方は 厚生年金の加入者の方(国民年金の第2号被保険者)とその被扶養配偶者の方(国民年金の第3号被保険者)の年金の手続きは、勤め先の事業主の方が行いますので、ご自身で行う必要はありません。
- ねんきんダイヤル 一般的な国民年金、厚生年金の相談には、加入者、受給者の方ともに、「ねんきんダイヤル」(☎0570-05-1165)が便利です。一般の固定電話では、接続先にかかわらず、市内通話料金のみで利用できます。IP電話・PHSからのダイヤル先は「03-6700-1165」となります。電話する前に、年金手帳や年金証書、振込通知書などを用意したり、相談したい事柄をメモしておくとう便利です。
ねんきんダイヤルの受付時間は、月～金曜日＝8時30分～17時15分(月曜日(月曜日が休日の場合は火曜日)は19時まで)。第2土曜日＝9時30分～16時。※日曜日と第2を除く土曜日、祝日、年末年始はご利用いただけません。
なお、「ねんきん定期便」および「厚生年金加入記録のお知らせ」に関するお問い合わせについては「ねんきん定期便専用ダイヤル」(☎0570-058-555(IP電話・PHSからは03-6700-1144))に電話してください。
- 年金事務所と街角の年金相談センター 面談による国民年金、厚生年金の相談をご希望の方は、加入者、受給者の方ともに、年金事務所(全国312カ所)または街角の年金相談センター(全国51カ所)をご利用ください。両方とも、受付時間はねんきんダイヤルと同じです。
なお、年金事務所では、面談のほか、電話による相談も受け付けています。
- その他 年金の相談・手続きにお出かけになるときは、年金手帳または年金証書、また念のために国民健康保険の被保険者証などの公的機関が発行した身分を確認できるものと印鑑をご持参ください。お出かけの際は、予め、その旨を電話で相談しておくとう便利です(街角の年金相談センターについては年金事務所に相談してください)。とくに代理人の方はご注意ください。

※日本年金機構のホームページ<http://www.nenkin.go.jp>(相談窓口の混雑予想も掲載されています)



クリスマス車両及び クリスマスイルミネーション列車の運行について

土佐くろしお鉄道では、12月のイベント「クリスマス」に合わせて、以下の通り特別企画車両『クリスマス列車』及び『Christmasイルミネーション列車&うまじっくクラブ・マジックショー』の運行を行うことしましたので、お知らせいたします。

1. 列車名『クリスマス列車』

○運行期間：平成24年12月1日(土)～平成24年12月25日(火)まで

『てのひらを太陽に号』の1両のみ、車内をクリスマス仕様に飾り付け

平成24年12月20日(木)から平成24年12月25日(火)の6日間は安芸駅・奈半利駅の改札係及び昼間、営業車掌がサンタクロースの衣装で業務いたします。



2. 列車名『Christmasイルミネーション列車&うまじっくクラブ・マジックショー』

○運行期間：平成24年12月8日(土)

(『クリスマス列車』車内をイルミネーションで飾り付け)

※ご乗車のお子様(小学生以下)にはサンタクロースより素敵なプレゼント!!(個数に限りがあります)

○乗車運賃：乗車駅からの通常価格でご乗車できます。

12月8日(土)に安芸駅前周辺で開催される『安芸キャンドルナイト2012』に合わせて、後免駅～奈半利駅間を一日一往復運行いたします。安芸駅から奈半利駅間往復では、『うまじっくクラブ』によるマジックショーを開催。幻想的な車内で、マジックショーをお楽しみください。



3. 2012. 12. 8限定 Christmasイルミネーション列車『サンタきつぷ』を販売します。

運行区間：安芸駅～奈半利駅間往復

サンタ価格：大人800円／小児400円(通常、大人：1,080円／小児：540円。お得なきつぷです)

イルミネーション列車 運行時間

【奈半利方面行】

駅名	後免	後免町	のいち	あかおか	夜須	和食	球場前	安芸着	安芸発
発時刻	16:46	16:48	16:55	17:00	17:09	17:15	17:21	17:24	18:16
駅名	伊尾木	安田	田野	奈半利	※安芸駅に52分間停車いたします				
発時刻	18:19	18:28	18:33	18:35着					

【後免方面行】

駅名	奈半利	田野	安田	伊尾木	安芸着	安芸発	球場前	和食	夜須
発時刻	18:50	18:55	18:58	19:07	19:10	19:12	19:14	19:21	19:40
駅名	あかおか	のいち	後免町	後免	※安芸駅に52分間停車いたします				
発時刻	19:44	19:50	19:55	19:57着					



●問い合わせ先

土佐くろしお鉄道株式会社 安芸駅

TEL 0887-34-8800



「こうち出会いのきっかけメールマガジン」 登録者募集について

高知県では、「素敵な出会いがあれば、そろそろ結婚…」と考えている方を応援するため、独身者の「出会いの場となる」イベントや、婚活サポーターなどの情報をタイムリーにお知らせするメルマガを配信しています。

※イベント情報を入手した時点で随時配信します。

【問い合わせ先】

高知県地域福祉部少子対策課

電話：088-823-9717

FAX：088-823-9658

E-mail：060501@ken.pref.kochi.lg.jp

◆登録方法

【PCから】

高知県ホームページの「メールマガジン」から登録
<http://www.pref.kochi.lg.jp/mailmaga/>

【携帯から】

kochi-deaiouen@ken3.pref.kochi.lg.jp

あてに空メールを送信

※このメールアドレスと次のメールアドレスを受信できるように設定してください。

webmaster@ken4.pref.kochi.lg.jp(登録確認メール)

こうち出会いのきっかけ応援サイトもご覧ください。
<http://www.pref.kochi.lg.jp/~deaiouen/>



国際交流員

ジェシー・デカートレイ



湿度の高い奈半利の夏が終わり、暑さの和らいだ秋が訪れました。年中乾燥しているメルボルンの気候に慣れた私は、日本の夏を何回経験してもなかなかなじみずにあります。メルボルンの夏に雨が降り始めると、風向きの変化によって温度が急激に低下し、涼しくなる傾向があります。こういった気象は英語では「change」と言われ、夏の最中に雨が降ると必ず現れ、夏の暑さに飽きた私を元気に戻してくれる気象変化です。とはいえ、温度の低下をもたらす直前の数日は猛烈に暑く、外出を控えるように警報が出るほど大変なときもあるのです。そのため、オーストラリアの 40 度を超える夏の日々を思い出すと、やはり雨が降るかどうかを問わず温度が安定している日本の夏の方が良いかもしれません。

最近奈半利で経験した行事といえば、様々な町内の運動会です。10 月には加領郷小学校と幼稚園の運動会に参加させていただきました。そこで子どもたちの汗をかいて頑張りながら協力していた姿に感動し、オーストラリアの運動会の仕方について考えさせられました。オーストラリアでは日本の運動会と似たような「スポーツ・デイ」があり、生徒たちが青・黄・赤・緑という四つの色に分けられています。休日ではなく平日に行われ、最初に各チームにそれぞれのレースに出る参加者を選びます。ただし、日本と違って、陸上競技の個人種目が多く、どのチームも勝つために一番強い生徒が選ばれます。私が通った小学校では個人レースに勝ったら、学校の代表同士が競う対校運動会にも参加できるという決まりがあり、それをつかむために生徒たちは勝つことを目標として必死に頑張っていました。

しかし、これは 10 年以上も前に行われた行事であり、今振り返ってみると、確かに楽しかったという覚えはありますが、勝つことを前提にしたせいか、実際に何を学んだかと言われれば、うまくまとめられないのです。その一方、奈半利で体験させていただいた様々な運動会を考えると、みんなと一緒に笑顔で頑張ることが目標であり、それぞれ順位等の結果は出るものの、競走以上に大切なことに気付かされたような気がします。

そしてもう一つの大切な経験をさせていただきました。それは多気坂本神社の秋祭りに参加したことです。お多福面をかぶって、走りながら竹の棒を地面に思いきり打つのが、人生で初めて最後かもしれない経験のように思い、町内を一生懸命に駆け回ってきました。お多福面の目の穴が小さく、自分の周辺視野が悪かったため、「誰かを打ってしまったらどうしよう」とずっと悩んでいましたが、無事に終わって良かったです。ですが、奈半利小学校に行ったら「あっ、ジェシー先生だ!」という声が山ほど聞こえたので、「着物を着て、お多福面までかぶって日本文化に染まっていますが、この身長でばれてしまうのだな」と自分の目立つ姿を再認識させられましたが、とても楽しかったです。関係者の皆様ありがとうございました!





自分のからだ・生活活動にあった食事をとっていますか？

活動消費量および必要エネルギー量

身体活動レベル普通

年 齢	身長を目安 (cm)		体重を目安 (kg)		1日に必要な エネルギー量 (kcal)		1食に必要な エネルギー量 (kcal)	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
3～5歳	103	103	16	16	1,250	1,300	420	430
6～7歳	119	120	22	22	1,450	1,550	480	520
8～9歳	130	130	27	28	1,700	1,800	570	600
10～11歳	141	143	35	36	2,000	2,250	670	750
12～14歳	155	160	46	48	2,250	2,500	750	830
15～17歳	157	170	51	58	2,250	2,750	750	920
18～29歳	158	171	51	63	1,950	2,650	650	880
30～49歳	158	171	53	69	2,000	2,650	670	880
50～69歳	153	166	54	65	1,950	2,450	650	820
70歳以上	148	161	49	60	1,700	2,200	570	730

年代・男女別にどれくらい一日に必要なのが、表してみました。日常の食事量をふりかえって、チェックしてみましょう!!

身体活動レベルの内訳

身体活動レベル低い

- ・生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合

身体活動レベル普通

- ・座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、あるいは通勤・買い物・家事、軽いスポーツ等のいずれかを含む場合

身体活動レベル高い

- ・移動や立位の多い仕事への従事者。あるいは、スポーツなど余暇における活発な運動習慣をもっている場合

平均的な身長・体重で身体活動レベルが普通の人の活動消費エネルギーです。
身長・体重の目安より高い人や活動量の多い人は1食に必要なエネルギー量(Kcal)にプラス100kcal、低い人はマイナス100kcalに調整してください。
資料:「日本人の食事摂取基準(2010年度)」

ヘルシー食のご紹介

主菜:さばのおろしあんかけ

材料(2人分)

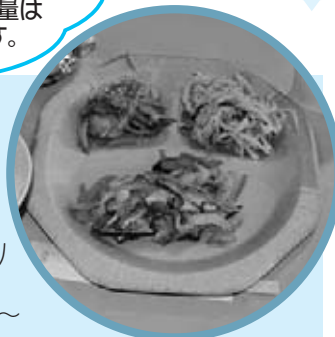
さば	90g × 2切れ
酒	小さじ1/3
塩	少々
たまねぎ	1/3個
干しいたけ	3枚
赤パプリカ	1/8個
黄パプリカ	1/8個
緑ピーマン	1/3個
にんじん	1cm
大根	2cm
濃口しょうゆ	大さじ1/2
油	小さじ1/2

223kcal 塩分1.1g

さばは、「青魚の王様」といえるほど栄養価が高く、さばの脂質にはDHAやEPAなどが豊富に含まれ、含有量は青魚の中でも群を抜いて多いです。

作り方

- ①さばは酒と塩をひく。
- ②たまねぎは薄切りする。水で戻した干しいたけは薄切りに、赤・黄パプリカ、緑ピーマン、にんじんは細切りにする。大根はすりおろして軽く汁気を切る。
- ③さばはオーブントースターで10～15分焼く。
- ④鍋に油を熱し、にんじん、しいたけ、たまねぎ、ピーマン、パプリカの順に炒め、しょうゆを加え、最後に大根おろしを混ぜ、さっと火を通す。
- ⑤器にさばを盛り、④をかける。



※DHAは、脳や神経組織の発育や機能の維持において重要な働きをすることが知られており、記憶力の低下を抑えたり、目によいとされています。
※EPAは、血液中の血小板凝集を抑制して血中のコレステロールや中性脂肪を低下させる働きを持っています。

最低賃金改正のお知らせ

高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、10月26日から施行することとしました。

この決定により、10月26日以降分として労働者に支払う賃金は、**1時間652円以上**としなければなりません。



最低賃金についての問い合わせ

高知労働局(賃金室) TEL 088-885-6024

または、最寄りの労働基準監督署

高知労働基準監督署 TEL 088-885-6031

須崎労働基準監督署 TEL 0889-42-1866

四万十労働基準監督署 TEL 0880-35-3148

安芸労働基準監督署 TEL 0887-35-2128



短歌

離岸堤カメ群れなした光を
十年ぶりに妹夫婦は

仙頭卯市

落葉ふみ銀杏並木で別れた日
うしろ姿も遠き想出

手嶋和子

故里の柿もうれたと使ひなく
母の作った味ぞ恋しく

島村 昭

那波の会

帰りかけ又もどり来る夫婦愛
今日もまた紙上賑わす悪事件

集 昭

へのへと書いた眉毛が温かい

美 恵

今年には笑顔くれそう柿みかん

玲 美

いつまでも女は愛を聞きたがり

敏 子

人生の節目に光る父の釘

純 子

宴席の顔ぶれ揃い謎が解け

故 酔 客

昭和には人間らしい人がいた

故 酔 客

つゆ草

紅葉せる桜に繋ぐ祭馬

セツ子

時化それし安堵に仰ぐ今日の月

いさみ

残る蜂一刺いまだ威力あり

いくよ

紅殻で栄えし吹屋夕時雨

つね子

鶏頭や茶店の窓に燃えにけり

とし子

運動会竹馬に乗る小さき足

さち子

おめでとう

☆おめでとうおめでとう

氏 名

生年月日

性別

父

母

地区名

安岡真渚人

H 24・9・8 男

孝 記 真 記

立 町

小笠原叶恋

H 24・9・15 女

正 起 深 雪

立 町

平島 颯士

H 24・10・17 男

丈 徳 由 美 子

横 町

氏 名

死亡年月日

性別

年齢

地区名

天野マキコ

H 24・9・15 女

横 町

和泉 大作

H 24・9・27 男

法 恩 寺

加 領 郷

畠中 茂壽

H 24・9・27 男

愛 光 園

立 町

森田 雪子

H 24・10・6 女

立 町

宮地 昭子

H 24・10・8 女

立 町

濱渦美佐子

H 24・10・9 女

樋 ノ 口

立 町

安岡 民喜

H 24・10・15 男

花 田

立 町

片原 和子

H 24・10・30 女

弓 場

立 町

濱渦 光

H 24・10・31 女

愛 光 園

立 町

お詫び

「広報なはりNo.284」14ページ「つゆ草コーナー」において、作品の欠落および作者の錯誤がございました。関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

中学校 だより

Vol.
15-1



文

化活動発表会・秋の陣開催

10

20

SAT

10

21

SUN



10月20日(土)・21日(日)の2日間にか、文化活動発表会と秋の陣を開催しました。

文化活動発表会では、いじめをテーマにあげての意見発表や、各学年の合唱、防災学習の発表等を行い、日頃取り組んできた成果を発表することができました。



秋の陣では、昨年夏の陣の開催をしておらず、今年は何としても開催するように全校生徒知恵を出し合い、秋の陣ということで開催できるようになりました。各学年とも工夫を凝らした屋台やダンス等の披露もあり、盛大に秋の陣が開催されました。

地域の方、保護者の方々等たくさんの方においでいただき、本当にありがとうございました。



安芸地区陸上大会

10
6
SAT

10月6日(土)安芸西村憩ヶ丘グラウンドで安芸地区陸上大会が開催されました。

出場した生徒は、最後まで自分たちの力を出し切りました。



第7回 定期演奏会

10
28
SUN

10月28日(日)奈半利中学校体育館で第7回定期演奏会を開催しました。

当日は、加賀郷小学校の野町校長先生をはじめ、高岡中学校や鷹ヶ池中学校の吹奏楽部などいろいろな方にご協力いただき、大変盛大に定期演奏会を開催することができました。



3年生は、今回の演奏会で引退となりますが、1、2年生が奈半利中学校吹奏楽部の伝統を受け継いでいきますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。また、今回の定期演奏会でご協力いただいた方々、保護者、地域の皆様本当にありがとうございました。

祝 高新中学駅伝競走大会出場決定

11
3
SAT

11月3日(土)安田町で安芸地区中学校駅伝競走大会が開催され、奈半利中学校から男子2チーム、女子1チームが出場し、Aチームが11月18日(日)に春野総合運動公園で行われる本大会へ出場することとなりました。

奈半利中学校を代表し、Aチームは、池田瑞樹、安岡孝平、細川凱良、山中海飛、竹田佑貴、森口拓弥、Bチームは、岳本心、松村滯斗、山中大成、谷口祥太、前田博哉、垂水純也、女子チームは、山本亜朱咲、眞田寧々、久武禎乃、松岡梨杏、三好楓が出場、女子駅伝部の久しぶりの出場もあり、3チーム共最後まであきらめない素晴らしい走りを見せ、Aチームが本戦へのキップをつかみ取りました。



保護者、地域の皆様温かい声援をありがとうございました。

また、本大会に向けて練習を積んでいきますので、応援をよろしくお願いいたします。